

令和4年度「脱炭素×復興まちづくり」FS委託業務 採択結果

代表業務責任者 (括弧内は共同実施者を記載)	業務名・業務概要	主な調査対象地域
<p>アクセンチュア株式会社 (株式会社パンタレイ) (バンブージャパン株式会社)</p>	<p>中型・小型風車及び水車を活用した 再生可能エネルギーによる脱炭素・復興まちづくりに係る実現可能性調査</p> <p>中型・小型風車及び水車を活用した再生可能エネルギーの生成及びエネルギー需給システム構築、産業集積地(浪江町棚塩産業団地を想定)のRE100※¹化に向けた実現可能性に係る調査及び検討を行う。</p> <p>※1: RE100とは、企業が自らの事業の使用電力を100%再エネで賄うことを目指す国際的なイニシアティブを指す。</p>	<p>福島県双葉郡浪江町</p>
<p>株式会社エックス都市研究所 (ヒューリックプロパティソリューション株式会社)</p>	<p>再生可能エネルギー・蓄電・排熱利用による「脱炭素×地域共生型」 データセンターを中核とした復興事業モデルに係る実現可能性調査</p> <p>データセンターの省エネ、高効率化(低PUE※²化)のほか、再エネ(主に、太陽光発電を想定)や蓄電システム導入による電力需給の最適化、排熱利用(温室ハウス栽培等を想定)の可能性を含む、「脱炭素×地域共生型」データセンターを中核とした復興事業モデルの実現可能性に係る調査及び検討を行う。</p> <p>※2: PUE: Power Usage Effectivenessの略。データセンター等のIT関連施設のエネルギー効率を表す指標の1つ。</p>	<p>福島県双葉郡大熊町</p>
<p>応用地質株式会社 (東北おひさま発電株式会社)</p>	<p>バイオガス発電による エネルギーや資源の地産地消を通じた復興事業モデルに係る実現可能性調査</p> <p>地域に存在する未利用資源(家畜ふん尿や食品残渣等を想定)を原料とするバイオガス発電事業や発電により発生した液肥や熱の利用方法、発電した電力による地域電源確保等について、地域の経済効果も踏まえた実現可能性に係る調査及び検討を行う。</p>	<p>福島県相馬郡飯舘村</p>

代表業務責任者 (括弧内は共同実施者を記載)	業務名・業務概要	主な調査対象地域
日本工営株式会社 (株式会社ふたば)	CO2のネットゼロ化(ゼロカーボン)を目指した ワイン事業による復興まちづくりに係る実現可能性調査	福島県双葉郡富岡町
	ブドウ栽培やワイン醸造等のワインづくりのプロセスにおける再生可能エネルギー(透明発電を用いた太陽光発電を想定)等によるCO2のネットゼロ化(ゼロカーボン)及びワイン事業による地域振興を通じた復興まちづくりの実現可能性に係る調査及び検討を行う。	

※各業務内容を代表業務責任者別(五十音順)に記載。以上は、提案時の業務概要であり、全てを網羅するものではありません。また、個別の調査項目等は委託元の環境省との協議により変更される可能性があります。

※本委託業務は、エネルギー対策特別会計エネルギー需給勘定による予算で実施されます。そのため、各業務では、エネルギー起源CO2の削減効果の試算を行います。